

科目名	精神看護学実習 Psychiatric Nursing Practice		担当教員 (研究室番号)	長南幸恵 (401)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	3年次 後期	科目 区分	専門科目・広域看護学		選択 区分	必修	単位数 (時間)	2(60)	授業 形態	実習	科目等 履修生	否
											オープンクラス	否
科目 目的	本科目は、精神疾患のある人（児）への支援に必要な知識と技術を基盤とし、精神科領域における看護師の役割を理解して、適切な看護実践ができる能力と姿勢を養うことを目的としている。											
ディプロマ・ ポリシー (DP)	主要なDP	D 様々な職種との連携において看護専門職者としての役割を理解し、多職種による協働活動に参加できる。（技能・表現） E 地域に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。（技能・表現） F 地域社会にくらす人々の健康課題の解決に向けて、対象に応じた看護を提供できる。（技能・表現）										
	関連する DP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解） C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。（技能・表現）										
到達 目標	1. 理論モデルを基にストレングスを含めた患者の全体像を説明できる。 2. 精神疾患のある人との治療的関係を構築できる。 3. 精神疾患のある人の回復過程に応じた看護計画を実践できる。 4. 精神疾患のある人（児）の地域生活への移行における看護の役割、多職種連携、各種療法や社会医療福祉制度を説明できる。 5. 精神看護における倫理的態度や協働性、自律性を涵養できる。											
成績評価方法 (基準)		実習評価表に基づき、点数化し評価する。										
再試験の有無と 基準等		実習の出欠席及び追実習に関する取扱要領第4条に該当者した場合において追実習を認めることがある。										
教科書		精神看護学概論、精神看護方法Ⅰ・Ⅱで指定した教科書										
参考書等		適宜提示します。										
学生の主体性を伸ばすための教育方法と 学生への期待		精神看護学概論、精神看護方法Ⅰ・Ⅱで学修した知識や技術を実践で活用します。実際に精神疾患のある人の生活上の困難を理解し、回復過程を支援していきましょう。										
備考												
学 習 内 容												
[実習場所] 三重県立こころの医療センター 総合心療センターひなが 三重県立子ども心身発達医療センター												
[実習方法概要] 病棟実習：精神疾患のある人を原則ペアで受け持ち、理論モデルを用いた看護過程を展開する。 学生はチームとして協働し、患者と治療的関係を構築し、回復を促進するケアを実践する。 見学実習：2週目に指定の部門あるいは施設において精神疾患のある人への療法や支援の実際、生活の様相を学ぶ。 詳細は、実習要項参照すること。												

学 習 課 題
事前：精神看護に必要な知識や技術を復習してください。

実務経験を活かした教育の取組
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。